

内容	いただいたご意見の要旨	いただいたご意見に対する市の考え方	修正点
組織の一本化について	高齢化による役員の重複等の課題解決には、統合できる組織は一本化した方が良いと思います。	少子高齢化の影響による担い手不足は多くの地域で課題となっています。地域がその課題に対応できるよう各組織の連携を図り、柔軟に地域組織の運営を行っていただくこともまちづくり協議会の役割のひとつと考えます。市が地域にお願いしている各種委員等については重要な役割を担っていると考えており、現段階では一本化する事は考えておりません。	
若者の参加促進について	若者が参加しやすい組織にして活動するためにどうするかが喫緊の課題だと考えます。	若者が参加しやすい組織にするためには、まちづくり計画の策定に若者に参加してもらい、若者向けの事業を実施したり、スポット的に参加出来たり、意欲がある若者に適切な役割を準備したらあとは任せるなど、若者が活動しやすい環境と雰囲気づくりが必要と考えます。どんな手法をとるにせよ、組織側が、若者の都合、思いを聞いて受け入れることが大切です。担い手不足の解消やまちづくり協議会の認知度向上には若年層の参加を促すことが必須であり、まちづくりの活動に参加しやすい環境作りや仕組み作りが重要であると考えます。今後協働のまちづくりを進めていく中で検討していきたいと考えます。	
地域の長期・中期のプランについて	地域や住民が持つ魅力を発見し、協議会主導で広げていく取り組みが必要だと感じています。そのためにはこの地域の5年先、10年先の姿を描くなど長期・中期のプランの策定が必要です。	地域の特色に合わせた住みよい地域社会の実現には、ご意見のとおり地域住民の意見を反映した長期・中期のプランが必要です。これからのまちづくりにおいては、計画の策定には多くの方の参加と意見取り入れが必須だと考えており、住民一人一人がまちづくり計画策定の段階から関わり話し合いを重ねていくことで、地域に暮らす当事者の自覚が生まれ、活動への参加が促進され、地域の活性化へつなげることができると考えます。	
市職員能力向上について	市職員の協働のまちづくりについての意識向上と市民との関係性の構築を図るべき。	ご意見を踏まえ、市職員と市民が対等かつ共感しあえる信頼関係を築くことができるよう、市民と積極的な関わり、支援スキルの充実を図って行きたいと考えます。	
地域組織の一本化について	どの地域も人口減により、組織運営の硬直化、若い世代の地域無関心層が増加しており、分かりやすい組織に一本化し、財源の効率的な運用が必要と思います。 《仮称》・〇〇地域センターに集約し、組織運営の簡素化実施し、エリア情報をまとめ易くし、自治会情報を吸い上げ易くすることが必要と思います。	少子高齢化の影響による担い手不足は多くの地域で課題となっています。地域がその課題に対応できるよう各組織の連携を図り、柔軟に地域組織の運営を行っていただくこともまちづくり協議会の役割のひとつと考えます。多様な主体がそれぞれ自主性をもって、互いを補完しながら活動することが新たな担い手の発掘と協働のまちづくりの推進につながると考えております。	
まちづくり協議会の情報開示について	まちづくり協議会は誰がどのような活動をされているのか、全く知りません。補助金等の内容を公開するべきだと思います。	各まちづくり協議会の事業計画及び収支予算書を令和3年度からホームページで公開しております。今後、行政も協議会とともに積極的な広報等に取り組んでいきたいと考えます。	